

平成 27 年 12 月 1 日

循環器内科、神経内科に通院中の
(または過去に通院・入院されたことのある) 患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 非弁膜性心房細動患者を対象とした抗凝固療法の長期治療実態について

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科、神経内科

[研究責任者] 循環器内科 教授 萩原 誠久

[研究の目的]

心房細動に対し抗凝固薬（ワルファリン、ダビガトラン、アピキサバン、リバーロキサバン、エドキサバン）が処方された患者について、イベントの発生と臨床背景について検討をおこない、各抗凝固療法の治療成績についての評価を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2011 年 3 月 1 日から 2015 年 11 月 30 日までに東京女子医科大学病院循環器内科および神経内科に通院または入院した心房細動患者さんのうち、抗凝固薬（ワルファリン、ダビガトラン、アピキサバン、リバーロキサバン、エドキサバン）の処方がおこなわれた患者さん

●利用するカルテ情報

性別、年齢、身長、体重、基礎心疾患、既往歴（高血圧、糖尿病、冠動脈疾患、左室機能不全の有無）、血栓塞栓症の既往（脳梗塞、一過性脳虚血発作（TIA）、静脈血栓塞栓症）、出血を伴う疾患の既往（消化性潰瘍、腫瘍、頭蓋内出血、その他の出血）、デバイスの有無（植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器、心臓再同期療法）、手術歴、透析歴、喫煙、甲状腺機能亢進症の有無、心臓超音波検査、心プールシンチグラフィ、左室造影検査、抗凝固薬の使用状況、併用薬（抗血小板薬、ジゴキシン、抗不整脈薬、ベータ遮断薬、ACE-I / ARB 等）血液検査（PT-INR、血清クレアチニン、BNP）、イベント（塞栓症；脳梗塞、一過性脳虚血発作、その他の全身性塞栓症および出血合併症（安全性）；頭蓋内出血、輸血または入院治療を必要とする出血）の発生日、イベントの詳細、イベント時の画像所見、最終観察日（外来受診日、入院確認日、退院日）、死亡日、死亡理由

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター 担当 長沼 美代子

電話 03-5269-7493 FAX 03-5269-6745

平成 27 年 12 月 18 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 神経腫瘍に関する各種因子と予後に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院脳神経外科

【研究責任者】 村垣善浩 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授

【研究の目的】 神経腫瘍に関する各種因子（年齢、腫瘍の種類、グレード、摘出率など）と予後（再発の有無や生存期間など）がどのように関連しているかを調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

神経腫瘍の確定診断がついた患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 27 年 7 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 村垣善浩、丸山隆志、新田雅之

電話 03-3353-8112(66003) FAX 03-5312-1844

平成●年●月●日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「潰瘍性大腸炎術後の Pouch 機能率の検討. 術後早期機能率、長期機能率、pouch failure の要因と治療」に関する多施設共同研究調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 第二外科・教授・講座主任 岡本高宏

【研究の目的】 潰瘍性大腸炎では肛門温存手術が標準術式であるが、合併症により肛門機能が維持できず永久的人工肛門となる症例が存在する。多施設共同研究により合併症の頻度、特徴を明らかにし、術式選択の基準を作成する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

肛門温存手術をおこなった潰瘍性大腸炎の患者さんで、2005 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に手術の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、潰瘍性大腸炎の病状および治療歴 検査結果（血液検査）、手術記録、経過記録

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 小川真平

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 27 年 10 月 25 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることと、ご協力いただいた病理標本の再検討によって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 先天性心疾患に合併する微細冠動脈瘻に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 診療部長・准教授

【研究の目的】 先天性心疾患に合併する微細冠動脈瘻の合併頻度、原因および血行動態に与える影響を明らかにすること。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

先天性心疾患を有する患者さんで、平成 15 年 1 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に当科でカテーテル検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、カテーテル検査時年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、カテーテル検査、心電図）、内服内容、手術時期、手術内容。

●保管検体の使用

研究対象となる微細冠動脈瘻が確認され、病理標本にご協力いただいている場合には微細冠動脈瘻の部位に関して微小構造の評価を行います。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報および保管された検体を用いた情報収集をご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 森 浩輝

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 10 月 6 日

消化器内科・消化器外科に通院(または過去に通院・入院されたことのある)の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、既に採取され保管されている検体と診療情報を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Steatohepatic hepatocellular carcinoma に関する免疫組織化学的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 消化器内科

[研究責任者] 東京女子医科大学消化器内科 教授 橋本悦子

[研究の目的] Steatohepatic hepatocellular carcinoma の特徴を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肝細胞癌の患者さんで、平成 23 年 1 月から平成 27 年 6 月の間に当院消化器外科にて肝切除術を受けた方のうち、癌部組織に脂肪沈着、細胞の風船様変性、壊死炎症反応、細胞周囲性線維化など steatohepatic hepatocellular carcinoma 所見が認められた方

●利用する検体および診療情報

検体：肝組織標本

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、過去にかかった疾患、ご家族の疾患歴、合併症、手術までの肝細胞癌の治療歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体および診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 谷合麻紀子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7435

平成 27 年 9 月 1 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 総動脈幹症術後患者の長期予後について

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

〔研究の目的〕

総動脈幹症の術後患者の生命予後は改善しています。しかしながら、長期遠隔期の生命予後や生活の質についての報告はほとんどありません。本研究の目的は総動脈幹症患者の遠隔期の生命予後や生活の質（就労や就学の有無）や再手術、カテーテル治療の頻度を明らかにすることです。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1974 年から 2002 年までに総動脈幹症と診断された方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、手術内容。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朝貝 省史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

H27 12/31

平成 27 年 10 月 3 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

単心室形態患者の Fontan 術前の循環動態から Fontan 術後の合併症を予測できるか

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

〔研究の目的〕

単心室形態の患者さんは様々な手術を行った後、最終的にフォンタン手術を行います。フォンタン手術によって術後はチアノーゼが改善しますが肺への血流がうっ滞しやすく、その影響で心不全が悪化したり、肝臓や腸管にうっ血に伴う様々な合併症が生じます。フォンタン手術前の血行動態からフォンタン手術後の血行動態やフォンタン手術後の合併症を予測することができれば、フォンタン術前の治療方針に役立てることができます。本研究ではフォンタン手術前のカテーテル所見とフォンタン手術後のカテーテル所見を評価し、フォンタン手術後の血行動態に影響を及ぼす因子について検討し、今後フォンタン手術を行う方針の患者様の治療方針に役立てることを目的とします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2003 年 1 月 1 日から 2015 年 7 月 31 日に単心室形態でフォンタン手術を行った患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、身体所見、検査結果（血液検査、心エコー検査、腹部エコー検査、心臓カテーテル検査、CT 検査）、手術内容

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朝貝 省史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 10 月 01 日

循環器内科・循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 修正大血管転位症の患者さんにおける心不全発症および死亡に対する関連因子の検討。

【研究機関】 東京女子医科大学病院 循環器内科、循環器小児科

【研究責任者】 東京女子医科大学病院 循環器内科 教授・講座主任 萩原 誠久

【研究の目的】 修正大血管転位症の心不全発症および死亡に対する関連因子を検討する事を目的とする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2007 年 1 月から 2015 年 7 月の間に当院外来通院および入院された修正大血管転位症の方。

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、既往歴、内服歴、身体所見、手術記録、検査所見（心電図、血液・尿検査、画像検査、心臓超音波検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 五十嵐慶子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-044

平成 27 年 9 月 16 日 ver. 2

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 川崎病の臨床データを用いた病態解析と治療に関わる研究

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター小児科

【研究責任者】 濱田 洋通 東京女子医科大学八千代医療センター小児科 准教授

【研究の目的】

川崎病の子ども達の症状や経過、検査結果をまとめて検討し、よりよい治療に役立てることを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 18 年 12 月 8 日から平成 27 年 9 月 30 日まで、八千代医療センター小児科に入院した川崎病の患者さんを対象とします。。

●利用するカルテ情報

- ①入院中の心拍数、呼吸数、体温、血圧、酸素飽和度、理学所見。
- ②血液生化学データ：WBC、白血球分画、RBC、Hb、Ht、PLT、TP、ALB、AST、ALT、T-bil、GTP、BUN、Cre、Na、K、CL、CRP、フェリチン、炎症サイトカイン。
- ③画像データ、心電図データ
- ④患者属性：年齢、性別、家族構成、集団生活の状況、家族歴
- ⑤治療内容、入院病日、退院病日。
- ⑥予後

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学病院八千代医療センター小児科

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

担当医師 濱田洋通

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 小児呼吸器ウイルス気道感染症の病態解析と治療に関わる研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学八千代医療センター小児科

〔研究責任者〕 濱田 洋通 東京女子医科大学八千代医療センター小児科 准教授

〔研究の目的〕

小児の気管支炎・肺炎の病原体による症状の違いや回復の経過を検討し、気管支炎、肺炎のよりよい治療に役立てることを目的とします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 18 年 12 月 6 日から平成 27 年 9 月 30 日まで、八千代医療センター小児科に入院する気管支炎・肺炎の患者さんを対象とします。

●利用するカルテ情報

- ①喀痰、鼻腔ぬぐい液の細菌培養結果及びウイルスの検出結果
- ②入院中の心拍数、呼吸数、体温、血圧、酸素飽和度、理学所見。
- ③血液生化学データ：WBC、白血球分画、RBC、Hb、Ht、PLT、TP、ALB、AST、ALT、T-bil、GTP、BUN、Cre、Na、K、CL、CRP、フェリチン、炎症サイトカイン。
- ④画像データ
- ⑤患者属性：年齢、性別、基礎疾患、家族構成、集団生活の状況、家族歴
- ⑥治療内容、入院病日、退院病日。
- ⑦予後。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学病院八千代医療センター小児科

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

担当医師 濱田洋通

平成 27 年 9 月 28 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 膝関節障害を有する患者における保存的ならびに手術的治療成績不良因子の後ろ向き研究

【研究機関】 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

【研究責任者】 桃原茂樹、膠原病リウマチ痛風センター、教授

【研究の目的】 膝関節障害に対するよりよい評価方法の確立と、各種治療法の成績不良因子を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 2 年 4 月 1 日から平成 27 年 9 月 28 日の間に股関節障害の検査や治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、電気生理学的検査、細菌学的検査）、アンケート結果、手術記録、術中所見、病理組織学的所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 矢野紘一郎

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 27 年 9 月 15 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 高リスク前立腺癌に対する寡分割外照射併用高線量率組織内照射の治療効果

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

〔研究責任者〕 唐澤 久美子 東京女子医科大学 放射線腫瘍学教室 （教授）

〔研究の目的〕 高リスク前立腺癌に対する寡分割外照射併用高線量率組織内照射の効果を評価するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2007 年 2 月から 2011 年 10 月までの間に東京女子医科大学放射線腫瘍科で高リスク前立腺癌に対して寡分割外照射併用高線量率組織内照射を施行した方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、病理組織、血液検査、治療内容、再発の有無、無病期間、観察期間、生存の有無、画像検査

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 橋本弥一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成 27 年 9 月 19 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 脳血管障害に関する各種因子と予後に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院脳神経外科

〔研究責任者〕 川俣貴一 東京女子医科大学 脳神経外科 教授・講座主任

〔研究の目的〕 脳血管障害に関する各種因子（年齢、種類、治療効果など）と予後（再発の有無など）がどのように関連しているかを調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

脳血管障害の患者さんで、平成 12 年 4 月 1 日から平成 27 年 7 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 川俣貴一、山口浩司、石川達也

電話 03-3353-8111(26216) FAX 03-5269-7438

平成 27 年 9 月 19 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 脳腫瘍に関する各種因子と予後に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院脳神経外科

〔研究責任者〕 川俣貴一 東京女子医科大学 脳神経外科 教授・講座主任

〔研究の目的〕 脳腫瘍に関する各種因子（年齢、種類、治療効果など）と予後（再発の有無など）がどのように関連しているかを調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

脳腫瘍の患者さんで、平成 12 年 4 月 1 日から平成 27 年 7 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科 担当医師 川俣貴一、山口浩司、石川達也

電話 03-3353-8111(26216) FAX 03-5269-7438

平成 年 月 日

東京女子医科大学病院に入院または通院中の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、検査後に残った検体(残余検体)を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 患者検体を用いたPIVKA-IIおよびAFP-L3測定用体外診断薬の新規開発における製品性能評価（試薬メーカーへの検体提供）

【研究機関】 東京女子医科大学病院 中央検査部

【研究責任者】 川島 眞 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長

【研究の目的】 血中の微量成分である PIVKA-II および AFP-L3 を測定する新しい検査試薬を開発するため、ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社へ検体を提供します。
また、現在病院で使用している検査試薬と比較して、同じように正確な検査ができるかどうかを確認します

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 27 年 10 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日の間に、診療のために血液を取って PIVKA-II または AFP-L3 を測定された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（検査で測定した後の残余）

カルテ情報：採血日、検査時の PIVKA-II または AFP-L3 測定結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。この研究に該当する患者さんで、ご自身の検体またはカルテ情報を使用してほしくないというご希望がある方は、採血した日から 1 週間以内に下記の連絡先まで申し出てください。この期限までに申し出がなかった場合は、検体とカルテ情報を研究に使用いたしますのでご了解ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8112（内線 38215）

平成27年10月9日

東京女子医科大学東医療センター
救命ICUに入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 救命ICU 栄養サポートチームの活動
～急性期における排便コントロールの検討～

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター 救命ICU

〔研究責任者〕 東京女子医科大学東医療センター看護部 部長 松村幸美

〔研究の目的〕 急性期における経腸栄養プロトコルが、排便コントロールに及ぼす影響とその有効性について明らかにする

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当院救命ICUに平成26年11月1日から平成27年3月31日に入院し、経管経腸栄養を行った方

●利用するカルテ情報

- ①排便の有無、量、性状、緩下剤の使用の有無、薬剤名、使用量
- ②下痢の有無 下痢の量、性状
- ③年齢 性別 診断名 救命ICU入室期間 画像診断結果
- ④使用した経管栄養剤および量

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター救命ICU 担当；原田志保

電話 03-3810-1111（内7111） FAX 03-3809-6525

平成●年●月●日

当院循環器小児科・新生児科に入院され手術されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 先天性心疾患をもつ新生児における循環動態の変動と看護ケアの関連性

[研究機関] 東京女子医科大学大学院 看護学研究科

[研究責任者] 日沼 千尋 東京女子医科大学看護学部 教授

[研究の目的] 循環動態の変動に看護ケアがどのように関連しているか調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

先天性心疾患の患者さんで、平成25年1月1日から平成27年12月31日の間に入院され手術された方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、体重、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心エコー）、モニターデータ（脈拍、酸素飽和度、血圧、体温、呼吸）、看護ケア、医療処置

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

楠田 聡 東京女子医科大学病院 新生児科 TEL:03-3353-8111

朴 仁三 東京女子医科大学病院 循環器小児科 TEL:03-3353-8111

日沼 千尋 東京女子医科大学 看護学部 TEL: 03-3357-4874（内線 66465）

2017. 12/31

平成 27 年 9 月 24 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Meige syndrome に対する定位脳手術の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院脳神経外科

[研究責任者] 東京女子医科大学病院 脳神経外科 臨床教授 平 孝臣

[研究の目的]

Meige syndrome に対する定位脳手術の効果を検証するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

Meige syndrome の患者さんで、平成 14 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に定位脳手術の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、手術記録など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 脳神経外科

担当医師 堀澤 士朗

電話 03-3353-8111

平成 27 年 10 月 16 日

腎臓内科に通院中(または過去に通院・入院されたことのある)の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院における糸球体腎炎患者の可溶性ウロキナーゼ受容体濃度の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓内科

【研究責任者】 新田孝作、東京女子医科大学 腎臓内科 教授

【研究の目的】

巣状分節性糸球体硬化症患者さんの診断、鑑別マーカーとしての可溶性ウロキナーゼ受容体の有用性を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当院腎臓内科で、平成 20 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に腎生検を施行し、原発性巣状分節性糸球体硬化症、二次性巣状分節性糸球体硬化症、微小変化型、膜性腎症、IgA 腎症、minor glomerular abnormality (MGA) と診断された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体: 血液(あなたの診療に使用され残されたもの(余剰検体))

カルテ情報:

診断名、年齢、性別、身体所見、合併症、内服、検査結果(血液検査、尿検査、腎病理組織所見)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 井野文美

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

H28 12/31

平成 27 年 9 月 25 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 転移性腎癌に対するスニチニブ治療開始後において、サルコペニアは予後予測の評価として有用か？

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

サルコペニアとは悪性腫瘍(癌)などにより全身状態、栄養状態、全身筋肉量の低下が生じることを示す。近年、このサルコペニアの有無が、腎癌をはじめとするさまざまな悪性腫瘍を有する患者さんにおいて、予後予測因子としての有用性が示唆されている。一方、転移性腎癌に対する治療薬は、第一選択は分子標的薬スニチニブである。今回、我々は転移性腎癌を有する患者さんの予後予測に対する、スニチニブ治療開始後のサルコペニアの有用性を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2008 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間にスニチニブ治療を受けた方

●利用するカルテ情報

スニチニブ治療開始時の年齢、性別、腎癌の組織型、MSKCC risk(転移性腎癌の予後予測に用いられる)、腎摘手術の有無、転移臓器の数、スニチニブ治療開始時の CRP(炎症を表す)・Alb(栄養状態を表す)、スニチニブ治療開始時の身長、体重、BMI、SMI(skeletal muscle index, 筋肉量を示す指標となりサルコペニアの定義に用いる)、全生存期間(スニチニブ治療開始から死亡するまでの期間)、無増悪期間(スニチニブ治療開始から腫瘍増悪までの期間)など。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡

ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX
03-5269-7321

H27 12/31

平成 27 年 11 月 5 日

東京女子医大病院科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 単純血漿交換 (PE) または二重濾過膜血漿交換 (DFPP) による副作用の発生頻度の研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓内科

【研究責任者】 新田 孝作、東京女子医科大学第四内科、教授

【研究の目的】

PE および DFPP において、どの程度副作用が発現しているか、また、その副作用の発生、症状、転機に傾向が認められるかを調査するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

疾患は、生体腎移植レシピエントの抗体除去や移植後の拒絶を初め、劇症肝炎、神経疾患、膠原病、皮膚疾患など PE/DFPP に保険適応がある疾患すべて。東京女子医科大学透析室にて、2013 年 1 月から 2015 年 9 月までの期間に PE または DFPP 治療を行った症例。

●利用するカルテ情報

- ① 患者基本情報：年齢、性別、診断名、現病歴、既往歴、合併症、過去の血液浄化療法、内服薬、注射薬、血液データ、移植の場合ドナー・レシピエントの適合性検査。
- ② PE および DFPP の治療条件（治療回数、使用カラム、抗凝固剤、交換血漿量、置換する血液製剤の種類、濃度、量、その他治療時に投与した薬剤）
- ③ PE/DFPP 治療中の副作用（有害事象）の有無、およびその症状。副作用に対する治療。副作用の予防処置の有無と方法（事前投与する薬剤、治療方法の変更または中止、置換する血液製剤の変更）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 岡野 一祥

電話 03-3353-8111 内線(36441) FAX 03-3356-0293

平成 27 年 10 月 22 日

第一外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 前方アプローチ(transmanubrial approach 変法)を用いた手術症例の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院第一外科

【研究責任者】 大貫恭正 東京女子医科大学 第一外科学（教授）

【研究の目的】

胸郭上端近傍の胸壁、頸部、前縦隔には鎖骨下動静脈、腕神経叢、横隔神経、迷走神経等の重要な器官が位置するため、この部位へのアプローチは工夫が必要である。胸郭上端部の前方部分に存在するものを前方肺尖部腫瘍と呼びます。前方肺尖部腫瘍や縦隔腫瘍は進行すると鎖骨下動静脈、腕頭静脈、腕神経叢に浸潤性に発育することがある。前方アプローチ(transmanubrial approach)という経路で、この方法は鎖骨下動静脈、腕頭静脈、腕神経叢を良好な視野における優れた到達法です。鎖骨を切断せず、胸鎖関節を温存することで、鎖骨の固定が不要で手術後の上肢の運動が良好であるという利点があります。今回当科において、前方アプローチ(transmanubrial approach 変法)を用いて手術を施行した症例に関して検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日から 2014 年 5 月 31 日の間に前方アプローチ(transmanubrial approach 変法)を用いて手術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①性別、年齢、身体所見
- ②最終病理組織診断
- ③画像所見(CT PET XP)
- ④既往歴
- ⑤術前の Performance Status
- ⑥手術時の年齢
- ⑦手術日（西暦 年 月 日）： 例 2001/1/15
- ⑧手術アプローチ
- ⑨手術術式

- ⑩手術中出血
- ⑪手術時間
- ⑫輸血の有無
- ⑬血管浸潤、骨浸潤、神経浸潤の有無
- ⑭人工血管置換の有無
- ⑮人工血管の材料
- ⑯入院期間
- ⑰術後合併症
- ⑱術後合併症の内容
- ⑲血液検査所見 WBC Hb HT PLT AST ALT LDH Cr BUN CRP KL6 SPD SPA β D-グルカン 腫瘍マーカー (CEA CA15-3)
- ⑳術後経過 (治療内容)
- ㉑術前治療歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第一外科 担当医師 光星翔太

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7333

平成 27 年 10 月 19 日

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 痛風診療における画像診断の有用性についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 山中 寿 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター所長

[研究の目的] 痛風における画像診断の臨床的有用性を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2005 年から 2015 年 8 月までに東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センターに通院された痛風患者さんで関節超音波検査や dual energy CT 検査を受けたことがある方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、痛風罹病期間、BMI、飲酒歴、痛風結節の有無、痛風発作の既往と部位、血清尿酸値 (画像検査前 5 年間の結果、過去最高血清尿酸値)、高尿酸血症の病型、尿酸降下薬の種類と投与量、合併症 (肥満、尿路結石、腎機能障害、高血圧、脂質異常症、糖代謝異常、動脈硬化性疾患、変形性関節症)、画像診断所見 (骨エックス線、関節超音波検査、dual energy CT)、尿酸降下薬服薬状況

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 谷口敦夫

電話 03-5269-1711

平成 27 年 9 月 1 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 透析患者の膀胱癌に対する臨床的検討及び治療戦略

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 田邊 一成 泌尿器科 教授

【研究の目的】

透析患者の膀胱癌について非腎不全患者の治療戦略で施行してよいかどうか検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1988 年 4 月から 2014 年 5 月までの間に東京女子医科大学泌尿器科に入院し膀胱癌の治療を受けた透析患者

●利用するカルテ情報

- ① 年齢
- ② 性別
- ③ 手術所見（術式）
- ④ 病理所見（組織型、病期）
- ⑤ 臨床経過（臨床症状、追加治療の有無）
- ⑥ 透析期間
- ⑦ 喫煙歴
- ⑧ 尿細胞診
- ⑨ 画像所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 佐藤 泰之

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 9 月 15 日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の

患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 直腸癌手術時における一時的 Diverting stoma 造設の意義の研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院第二外科

[研究責任者] 第二外科 教授・講座主任 岡本高宏

[研究の目的] 直腸癌手術時に一時的人工肛門を造設することによって生じる合併症頻度およびその危険因子を明らかにするため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

- 1) 2005 年 1 月から 2014 年 12 月までに直腸癌に対して、肛門温存術で根治手術を施行した患者さん。
 - 2) 直腸原発腫瘍の生検検査において組織学的に直腸腺癌と診断されている。
 - 3) 他の癌種の治療がなく、他の臓器の癌や、他の大腸癌を認めない。
 - 4) 直腸切除術の既往がない(ただし内視鏡治療は除外しない)。
- ⇒適格基準の詳細に関しては担当医へお問い合わせください。

●利用するカルテ情報

性別、身長、体重、診療記録（医師記録・看護記録）、手術記録、病理記録、術後経過、血液検査結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 産形麻美子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 27 年 9 月 14 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 糖尿病に合併する肝疾患に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器内科

〔研究責任者〕 徳重 克年 東京女子医科大学 消化器内科 教授

〔研究の目的〕

糖尿病の経過中、肝機能障害の合併を多く認める。大半は脂肪性肝障害であるがまれにグリコーゲンの沈着に伴う肝障害（glycogenic hepatopathy; GH）を認める。GH の臨床像を明らかにすることを目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 12 年 1 月 1 日から平成 27 年 9 月 13 日の間に糖尿病治療中に肝障害を認めた方

●利用するカルテ情報

* 診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、既往歴、家族歴、検査結果（血液尿検査、体成分分析、胸腹部レントゲン、超音波、CT、MRI の画像診断結果、上下部消化管内視鏡検査、手術所見、腹水検査、病理検査）。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 小木曾智美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 27 年 9 月 16 日

八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病腎症進展の予測因子としての冠動脈石灰化スコアの意義について

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝科

[研究責任者]

橋本 尚武 東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科 教授

[研究の目的]

冠動脈石灰化スコアにより、糖尿病腎症悪化の有無を予想できるかについて調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2007 年 7 月から 2009 年 4 月に冠動脈造影 CT を行い、その後も外来に定期的に通院をした糖尿病患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、家族歴、内服状況、糖尿病合併症の状況、喫煙の有無
検査結果（血液検査、尿検査、冠動脈造影 CT 所見）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科 担当医師 福嶋清香

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 27 年 10 月 6 日

東京女子医科大学八千代医療センターに通院中（または過去に通院・入院
されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 糖尿病治療に関連した重症低血糖の調査研究ー実臨床におけるアンケート調査

〔研究機関〕 東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科

〔研究責任者〕 橋本 尚武（同センター 糖尿病・内分泌代謝内科 教授）

〔研究の目的〕 本研究では、わが国の糖尿病患者さんの、どの程度の方が低血糖、特に重症あるいは無自覚の低血糖を経験されているのかを、その頻度・重症度と治療内容などの患者背景との関連性について調査し、その成果を糖尿病の薬物治療ガイドラインの確立やよりきめの細かい患者指導の充実に向けた基礎データとして役立てようとするものです。

〔研究の方法〕 対象は当院外来に通院中あるいは入院中の糖尿病患者さんで 2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日の期間に、意識の低下する重症低血糖を発症された方です。

利用するカルテ情報は、以下の通りです。

(1) 低血糖の頻度と重症度

(2) 重症低血糖の日時、年齢、性別、病型、罹病期間、身長、体重、薬物治療の内容、血糖コントロール状況、糖尿病合併症の程度、自覚症状の有無、血糖値、HbA1c、クレアチニン、低血糖の重症度と対応・処置、低血糖による二次的事故リスクの評価、低血糖に関連すると考えられる交通事故の可能性

〔個人情報の取り扱い〕 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔調査研究の資金源について〕 この調査研究は日本糖尿病学会の補助金により行われます。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔お問い合わせ先〕 千葉県八千代市大和田新田 477-96 電話 047-450-6000
東京女子医科大学八千代医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科
橋本 尚武

平成 27 年 10 月 30 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 脳病態統合イメージングセンター（IBIC）と連携した先天性大脳白質形成不全症の脳 MRI 画像解析に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター小児科

[研究責任者] 高梨 潤一 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 教授

[研究の目的] 先天性大脳白質形成不全症の MRI 画像を臨床情報とともに収集し、IBIC を活用してデータベースを構築し、画像解析研究の推進に寄与することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

ペリツェウス-メルツバッハ病およびその類縁疾患を中心とする先天性大脳白質形成不全症と診断された患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、家族歴、既往歴、前投薬、診断名、臨床情報、治療内容、検査結果、画像結果、脳波結果、予後

[個人情報の取り扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先] 千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学 八千代医療センター 小児科 担当医師 高梨潤一
電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 27 年 10 月 30 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児急性脳症の後方視的研究

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター小児科

[研究責任者] 高梨 潤一 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 教授

[研究の目的] 急性脳症症例の臨床情報を解析し、急性脳症の早期診断、重症度・予後予測、よりよい治療法を見つけ出すことです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学八千代医療センター小児科で急性脳症と診断された患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、家族歴、既往歴、前投薬、診断名、臨床情報、治療内容、検査結果、画像結果、脳波結果、予後

[個人情報の取り扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学 八千代医療センター 小児科 担当医師 高梨潤一

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 27 年 10 月 30 日

東京女子医科大学八千代医療センター小児科に通院中（または過去に通院・
入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症に対する多施設共同コホート研究

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科

[研究責任者] 高梨潤一 東京女子医科大学八千代医療センター小児科 教授

[研究の目的]

たくさんの症例データに基づいて、「二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症」に対する本当に有効な治療方法を探すことです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症の患者さんで、平成 20 年 1 月 1 日以降に治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、神経所見、検査結果（血液検査、髄液検査、画像検査、脳波検査）、神経予後など。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京女子医科大学八千代医療センター 小児科

担当医師 高梨潤一

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 27 年 10 月 29 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 腎硬化症の予後因子の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科 教授・講座主任

[研究の目的]

腎生検（入院中に施行した背中から針を刺し、腎臓の組織の一部を持ってくる検査です）腎硬化症と診断された患者様のその後の経過（特にその後透析や腎移植を必要となったか否か）について予後調査をすることです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1974 年より 2014 年までの間に、当施設において腎生検にて IgA 腎症と診断された中で、腎生検時 20 歳以上だった方。

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴（過去にかかった大きな病気）、検査結果（腎生検結果、血液検査、尿検査）、治療、その後の検査経過、最終的に透析や腎移植が必要となったか否か

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 片岡浩史

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成27年10月1日

東京女子医科大学東医療センター整形外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 五十肩における腱板不全断裂のMRIによる検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター整形外科

〔研究責任者〕 千葉 純司、東京女子医大東医療センター整形外科教授

〔研究の目的〕 五十肩の原因を調べるためMRIにより腱板の状態を調べ、手術所見や術前症状と比較検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、2014年4月1日から2015年3月31日の間に五十肩（拘縮肩）にて手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター整形外科

担当医師 神戸克明

電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-9934

平成 27 年 11 月 5 日

糖尿病・代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病患者における末梢動脈疾患の診断に対する Toe-brachial index (TBI) の有用性の検討：Ankle-brachial index (ABI) との比較

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科

[研究責任者] 東京女子医科大学 第三内科学 教授 内潟 安子

[研究の目的] 糖尿病患者において、下肢 MR Angiography (MRA) を用いて評価した末梢動脈疾患に対する Toe-brachial index : TBI および Ankle-brachial index : ABI の有用性を比較する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

糖尿病患者さんで、平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日の間に TBI、ABI 検査を受け、さらに下肢 MRA 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、生理学検査、手術記録)、糖尿病、末梢動脈疾患、下肢切断などの治療経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科 担当医師 井倉 和紀

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 27 年 9 月 30 日

心臓血管外科科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心房スイッチ手術後右室不全症例に対する動脈スイッチ転換手術の遠隔成績

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院心臓血管外科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病院心臓血管外科 教授 山崎 健二

〔研究の目的〕 完全大血管転位症に対して 1980 年代まで心房スイッチ手術が多く施行され、その後動脈スイッチ手術へ移行しました。この心房スイッチ手術を受けた症例は、右室不全をはじめ遠隔期の合併症が問題となっています。これらの遠隔期合併症症例に対し、当院では、動脈スイッチ手術への conversion 手術を施行してきました。この conversion 手術の遠隔期成績を、生存曲線や検査データを用いて行い、手術の妥当性を評価します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

心房スイッチ手術が行われている完全大血管転位症の患者さんで、1986 年 1 月 1 日から 2006 年 12 月 31 日の間に動脈スイッチ手術への再手術を受けた方

●利用するカルテ情報

①年齢、②性別、③診断名、④手術術式、⑤追跡期間、⑥生存の有無、⑦心電図、⑧胸部レントゲン検査、⑨心臓エコー検査、⑩心臓カテーテル検査、⑪血液検査

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 心臓血管外科 担当医師 山崎 健二

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 9 月 18 日

東京女子医科大学 東医療センター 産婦人科に
通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当科における帝王切開子宮創部の縫合方法の検討 ー2 層縫合と単結紮 1 層縫合の比較ー

【研究機関】 東京女子医科大学 東医療センター 産婦人科

【研究責任者】 東京女子医科大学 東医療センター 産婦人科

教授 高木 耕一郎

【研究の目的】

帝王切開時に子宮を閉創する方法の比較を行うため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2012 年 9 月から 2015 年 8 月の間に、前 1 回帝王切開の適応で当科で帝王切開を受けた患者さん。

●利用するカルテ情報

年齢、妊娠分娩歴、妊娠週数、出生時体重、子宮切開創部の菲薄化の程度（術中所見）、術中出血量、手術時間、妊娠中または産褥の子宮の超音波検査所見 など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学 東医療センター 産婦人科

担当医師 上野 麻理子

電話 03-3810-1111 FAX 03-3800-4786

平成 27 年 8 月 27 日

神経精神科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

衝動制御の困難な患者へのアンガーマネジメントを用いた関わりの過程の考察

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経精神科

[研究責任者] 坂本 倫美 東京女子医科大学病院看護部 看護部長

[研究の目的]

衝動的に自傷や怒り表出を繰り返してしまう患者さんに対して、入院中に対処行動の獲得を目指して看護師と共にアンガーマネジメントを実施した過程を通し、効果的だと思われた看護の関わりについて明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 26 年 4 月～平成 27 年 8 月までの期間に、入院期間を通してアンガーマネジメントを実施し、衝動的な自傷や怒り表出への対処行動を獲得することができた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、データベース、心理検査結果、診療に関わる医師記録・看護記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科

看護師 高橋 真利子

電話 03-3353-8111

平成 27 年 10 月 15 日

整形外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腎移植患者の脊椎手術成績の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院整形外科

【研究責任者】 加藤義治

【研究の目的】 腎移植患者における脊椎手術の成績を検討する

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎移植後で、2003 年 4 月から 2012 年 7 月の間に脊椎手術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、透析期間、腎移植期間、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、術後経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院整形外科 担当医師 和田圭司

電話 03-3353-8111 FAX 03-3354-7360

平成 27 年 11 月 9 日

産婦人科および母子総合医療センターに通院中または過去に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 周産期予後に関わる不妊治療の影響に関する後方視的検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院母子総合医療センター

【研究責任者】 松井英雄 産婦人科 教授・講座主任

【研究の目的】 当院において2014年1月より2014年12月までに周産期管理が行われた不妊治療を経験された妊婦において、妊娠帰結に影響を与える因子を明らかにする目的で行う。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2014年1月より2014年12月までに当院で周産期管理が行われた妊婦

●利用するカルテ情報

年齢、妊娠経過中に認めた病名、それに対する治療の内容、検査結果、どのような妊娠経過をたどったか、どのような分娩経過をたどったのか、生まれた赤ちゃんの一週間の経過はどのようなだったのか、産後1カ月までの経過はどうだったのか。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 母子総合医療センター 担当医師 小川正樹

電話 03-3353-8111 内線 29433 FAX 03-5269-7350

平成 27 年 11 月 9 日

産婦人科および母子総合医療センターに通院中または過去に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 当院における卵子提供妊娠の転帰に関する後方視的検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院母子総合医療センター

〔研究責任者〕 松井英雄 産婦人科 教授・講座主任

〔研究の目的〕 当院において 2012 年 4 月より 2014 年 3 月までに周産期管理が行われた卵子提供妊娠による妊婦において、妊娠帰結に影響を与える因子を明らかにする目的で行う。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2012 年 4 月より 2014 年 3 月までに当院で周産期管理が行われた卵子提供妊娠の妊婦

●利用するカルテ情報

年齢、妊娠経過中に認めた病名、それに対する治療の内容、検査結果、どのような妊娠経過をたどったか、どのような分娩経過をたどったのか、生まれた赤ちゃんの一週間の経過はどのようなだったのか、産後 1 カ月までの経過はどうだったのか。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 母子総合医療センター 担当医師 小川正樹

電話 03-3353-8111 内線 29433 FAX 03-5269-7350

平成 27 年 11 月 9 日

産婦人科および母子総合医療センターに通院中または過去に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院における遺伝学的羊水検査後の妊娠帰結に関する現状と課題

【研究機関】 東京女子医科大学病院母子総合医療センター

【研究責任者】 松井英雄 産婦人科 教授・講座主任

【研究の目的】 当院において 2008 年 4 月より 2014 年 3 月までに妊娠中期の遺伝学的羊水染色体検査を受検した妊婦において、妊娠帰結に影響を与える因子を明らかにする目的で行う。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2008 年 4 月より 2014 年 3 月までに当院で妊娠中期の遺伝学的羊水染色体検査を受検された妊婦

●利用するカルテ情報

年齢、妊娠経過中に認めた病名、それに対する治療の内容、検査結果、どのような妊娠経過をたどったか、どのような分娩経過をたどったのか、生まれた赤ちゃんの一週間の経過はどのようなだったのか

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 母子総合医療センター

担当医師 小川正樹

電話 03-3353-8111 内線 29433 FAX 03-5269-7350

2015年10月19日

中央検査部に検体を提出される（または過去に提出されたことのある）
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、検査終了後の残余尿検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 全自動尿分析装置US-3500の性能評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 中央検査部

〔研究責任者〕 川島 眞 （中央検査部運営部長）

〔研究の目的〕 現在使用している尿の検査機器と、新しく開発された尿の検査機器の結果を比較して、新しい機器がより良いものか確認します。

この研究は「栄研化学株式会社」との共同研究でおこないます。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

尿検査を行われた患者さんで、倫理委員会承認日から2017年3月31日の間に尿検査をされた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：尿（診療の検査終了後の残余の尿）

カルテ情報：尿定性検査結果、定量法による尿中蛋白、ブドウ糖 アルブミン、
クレアチニン、尿沈渣検査結果（赤血球、白血球、円柱）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 管理機構室 三浦ひとみ

03-3353-8111(内線 38215)

2017. 3/31

平成●年●月●日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた保管検体を利用し過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 サイトメガロウイルス抗体測定試薬2法の性能評価

【研究機関】 東京女子医科大学病院 中央検査部

【研究責任者】 中央検査部 運営部長 川島 眞

【研究の目的】

サイトメガロウイルス抗体の検査を行う測定試薬が新たに開発されたため、従来試薬と同じ値が出るか性能を評価します。

この研究は、アボットジャパン株式会社からの受託研究で行います。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

サイトメガロウイルス抗体測定の依頼のあった患者さんで、平成27年11月1日から平成28年12月31日の間に測定され、残余となった血液

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液(血清)

カルテ情報：サイトメガロウイルス抗体

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に保管検体またはカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 管理機構室 担当 三浦 ひとみ

電話 03-3353-8112 (内線 38215) FAX 03-5269-7469

平成 27 年 10 月 20 日

整形外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 C1 外側塊 screw を C2 神経根尾側より挿入する新しいアプローチ

【研究機関】 東京女子医科大学病院整形外科

【研究責任者】 加藤義治

【研究の目的】 C1 外側塊 screw を C2 神経根尾側より挿入する新しいアプローチの有性を検討する

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2013 年 5 月から 2015 年 7 月までに東京女子医大で入院、上記方法で上位頸椎手術を施行した患者さん。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、）、術後経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院整形外科 担当医師 和田圭司

電話 03-3353-8111 FAX 03-3354-7360

平成 27 年 10 月 27 日

通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 大腸憩室出血 全国アンケート調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科、消化器内視鏡科

【研究責任者】 消化器内視鏡科 教授 中村 真一

【研究の目的】

大腸憩室出血の診断および治療の実態を明らかにするため、日本腹部救急医学会が行う全国調査です。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 21 年 1 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日の間に大腸憩室出血の診断で通院もしくは入院された方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、検査結果（血液検査、画像検査、内視鏡検査）、経過用紙、手術記録。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内視鏡科 担当医師 中村 真一

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7435

平成 27 年 10 月 23 日

リハビリテーション科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 小児脊髄性筋萎縮症に対する運動機能評価尺度の必要性
～HFMSE、CHOPINTEND を 9 症例に施行して～

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院リハビリテーション科

〔研究責任者〕 リハビリテーション科 教授 猪飼哲夫

〔研究の目的〕

脊髄性筋萎縮症患者に対する運動機能評価「HFMSE」、「CHOP INTEND」の日本国内普及を目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

脊髄性筋萎縮症の患者さんで、平成 26 年 8 月 5 日から平成 26 年 9 月 29 日の間に理学療法士による運動機能評価を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、運動機能評価結果(HFMSE、CHOP INTEND)

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リハビリテーション科

担当医師 教授 猪飼哲夫

電話 03-3353-8111（内線 20131）

FAX 03-5269-7639

H28 8/27

平成 27 年 11 月 9 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 耳下腺がんの切除術後に術後放射線治療を行った症例の治療成績と有害事象の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

[研究責任者] 唐澤 久美子 放射線腫瘍科 診療部長

[研究の目的]

耳下腺がんの切除術後に放射線治療を行った患者さんの治療成績を検討し、放射線の治療効果を明らかにする目的の研究です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

耳下腺がんの患者さんで、平成 15 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に耳下腺がんの切除術後に放射線治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、内視鏡所見、病理診断所見）、手術記録、放射線治療関連記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 泉 佐知子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成 27 年 11 月 11 日

腎臓小児科科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 小児における腎移植後悪性腫瘍の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院腎臓小児科

〔研究責任者〕 服部元史 東京女子医科大学腎臓小児科 教授

〔研究の目的〕 免疫抑制療法や周術期管理が進歩し、腎移植後の生着率および生存率は向上しています。その一方で、移植腎生着の長期化や強力な免疫抑制剤の普及に伴い悪性腫瘍の合併が注目されつつあります。小児期に腎移植を受けられた患者さんの悪性腫瘍の実態を明らかにするため研究を行います。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1983 年から 2014 年までの 30 年間に東京女子医科大学腎臓小児科で腎移植を受けられた患者さん

●利用するカルテ情報

- ① 患者基本情報：年齢、性別、生年月日、出生歴、家族歴、既往歴
- ② 疾患情報：疾患名、手術歴、治療内容
- ③ 血液検査結果：肝機能、腎機能、電解質、尿一般
- ④ 画像検査所見：CT、MRI、超音波検査
- ⑤ 病理検査：腎生検（施行している場合）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 服部元史

電話 03-3353-8111（代表） FAX 03-3359-4877

平成 27 年 8 月 26 日

産婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 先天性筋強直性ジストロフィーの全国調査

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院小児科

〔研究責任者〕 永田智 小児科 教授・講座主任

〔研究の目的〕

筋強直性ジストロフィーの臨床経過は多岐にわたり、妊娠・出産を契機に診断されるお母様も少なくありません。お母様の早期の診断、安全な妊娠・分娩、赤ちゃんのケアに役立てるため、全国調査により実態把握を行います。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

妊娠時に筋強直性ジストロフィーと診断されていた方、妊娠や出産を契機に筋強直性ジストロフィーと診断された方

●利用するカルテ情報

診断名、診断の契機

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院小児科 担当医師 石垣 景子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7338

平成 27 年 8 月 26 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 先天性筋強直性ジストロフィーの全国調査

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院小児科

〔研究責任者〕 永田智 小児科 教授・講座主任

〔研究の目的〕

筋強直性ジストロフィーの臨床経過は多岐にわたり、妊娠・出産を契機に診断されるお母様も少なくありません。お母様の早期の診断、安全な妊娠・分娩、赤ちゃんのケアに役立てるため、全国調査により実態把握を行います。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

先天性筋強直性ジストロフィーと、当科、もしくは新生児科で診断された患児とそのお母様

●利用するカルテ情報

診断名、診断の契機

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院小児科 担当医師 石垣 景子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7338

平成 27 年 10 月 6 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腎盂尿管癌に対する腎尿管全摘術施行後において、サルコペニアは予後予測因子として有用か

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科教授 田邊一成

【研究の目的】

サルコペニアとは悪性腫瘍(癌)などにより全身状態、栄養状態、全身筋肉量の低下が生じることを示す。近年、このサルコペニアの有無が、さまざまな悪性腫瘍を有する患者さんにおいて、予後予測因子としての有用性が示唆されている。しかし、腎盂尿管癌に対する標準的な治療である腎尿管全摘術後において、サルコペニアの有用性はまだ報告がない。そこで我々はサルコペニアの、腎盂尿管癌に対する腎盂尿管全摘術施行後の予後予測因子としての有用性を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2003 年 10 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日の間に腎盂尿管癌に対して腎盂尿管全摘術を施行された方

●利用するカルテ情報

腎盂尿管全摘術施行時の年齢、性別、癌の組織型・異型度、病期、手術時の Hb(貧血の度合いを表す)・CRP(炎症を表す)・Alb(栄養状態を表す)、腎盂癌か尿管癌の区別、開腹手術か腹腔鏡手術の区別、手術時の身長、体重、BMI、SMI(skeletal muscle index, 筋肉量を示す指標となりサルコペニアの定義に用いる)、手術後の全生存期間(手術施行時から死亡するまでの期間)、無増悪期間(手術施行時から腫瘍増悪までの期間)など。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX
03-5269-7321

平成 27 年 9 月 1 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 マルチスライス CT 3 次元画像情報から 3D プリンティング技術を応用して作成する「先天性心疾患診断用精密心臓レプリカ」の有用性に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器小児科

【研究責任者】 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

【研究の目的】 マルチスライス CT から作成した精密心臓レプリカの有用性を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

心室中隔欠損、心房中隔欠損、ファロー四徴症、両大血管右室起始、完全大血管転位、総動脈幹遺残、左心低形成、大動脈縮窄および離断、総肺静脈還流異常、主要体肺側副動脈を伴う肺動脈閉鎖兼心室中隔欠損、三尖弁閉鎖の患者さん

平成 27 年 10 月 31 までに心臓 CT の検査を受けた方。

平成 28 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日の間に心臓 CT の検査を受ける方

●利用するカルテ情報

心臓 CT データ。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朴 仁三

電話 03-3353-8112 FAX 03-3356-0441

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 新生児、早期乳児の侵襲性ウイルス感染症の病態解析に関わる研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学八千代医療センター小児科

〔研究責任者〕 濱田 洋通 東京女子医科大学八千代医療センター小児科 准教授

〔研究の目的〕

生後 3 か月未満のお子さんの発熱の原因病原体、症状や経過、検査結果をまとめて検討し、よりよい治療に役立てることを目的とします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

八千代医療センター小児科に入院する、発熱のある生後3か月未満のお子さんのうち、その症状からウイルス感染症が疑われた方を対象とします。

平成 18 年 12 月 8 日から平成 27 年 9 月 30 日までの入院した方を対象としています。

●利用するカルテ情報

- ①入院中の心拍数、呼吸数、体温、血圧、酸素飽和度、理学所見。
- ②血液生化学データ：WBC、白血球分画、RBC、Hb、Ht、PLT、TP、ALB、LDH、AST、ALT、T-bil、GTP、BUN、Cre、Na、K、CL、CRP、フェリチン、炎症サイトカイン。
- ③細菌培養、ウイルス検査データ：細菌培養結果、ウイルス PCR 検査、血清抗体価、ウイルス培養結果。
- ④画像データ、心電図データ
- ⑤患者属性：年齢、性別、家族構成、家族歴、集団生活の状況。
- ⑥治療内容、入院病日、退院病日。
- ⑦予後。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学病院八千代医療センター小児科

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

担当医師 濱田洋通

H30 10/31

平成 27 年 11 月 25 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 補足運動野（SMA）領域の臨床症状の特徴と OT（作業療法）アプローチについて
ー脳腫瘍開頭摘出術後の症例の比較ー

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院リハビリテーション科

〔研究責任者〕 猪飼 哲夫 リハビリテーション科 教授

〔研究の目的〕

脳腫瘍で開頭摘出術後に補足運動野領域から生じる運動障害に対して、一次運動野などの症状と比較し、特徴を挙げるとともに、有効なリハビリテーションの治療効果を調査するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

脳腫瘍の患者さんで平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日の間に脳腫瘍の開頭摘出術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、画像データ、リハビリテーション経過記録

(Brunnstrom stage、Fugl-Meyer test、感覚検査、関節可動域、Grascow coma scale、Functional Independence Measure、高次脳機能障害の有無、失語の有無)

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リハビリテーション科

担当医師

猪飼哲夫

担当作業療法士

角田明子

電話 03-3353-8111 (20131) FAX 03-5269-7639

平成 27 年 10 月 30 日 第一版

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 J-COMPASS 試験（MPI および CT 群における追跡調査）

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 萩原 誠久、東京女子医科大学病院循環器内科・教授

【研究の目的】

狭心症疑いの検査として、負荷心筋血流 SPECT あるいは冠動脈 CT 検査を受けた患者さんに対して、その後の予後との関連を検討すること。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

冠動脈疾患疑いの患者さんで、2006 年 1 月から 2008 年 7 月の間に負荷心筋血流 SPECT 検査または冠動脈 CT 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、検査後に施行した検査、入院歴、治療内容、生存の確認

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 小川洋司

電話 03-3353-8111 FAX03-3356-0441

平成 27 年 10 月 1 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 膵 Solid Pseudopapillary Neoplasm (SPN) の後ろ向き調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器外科

【研究責任者】 消化器外科 教授・講座主任 山本雅一

【研究の目的】

膵 Solid Pseudopapillary Neoplasm は比較的珍しい腫瘍です。被膜に覆われた組織の中に嚢胞と言われる袋状の成分が混在する腫瘍で若年女子に多いです。命に関わることは少ないとされていますが、近年この腫瘍であると診断される方が増えるに従い、高齢者例、男性例、転移や再発といった命に関わる契機をたどる報告が増えてきています。現在、国内で診断された方の病態や組織の検査における問題点を様々な角度から検討し現状を把握することで、今後の診断や治療の指針を作ることが可能となります。これにより、将来同じ病気にかかった患者さまの治療に役立つ可能性があります。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

膵 Solid Pseudopapillary Neoplasm で 1984 年から 2014 年の間に治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、主訴、既往歴、家族歴、飲酒歴、喫煙歴、検査結果（血液検査、画像検査、超音波内視鏡検査、細胞検査、組織検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 土井愛美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7505

平成 27 年 11 月 30 日

東京女子医科大学糖尿病センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病合併妊娠分娩後の長期フォローアップにおける血糖コントロールと合併症

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター

[研究責任者] 内湯 安子 東京女子医科大学 糖尿病センター 教授

[研究の目的]

糖尿病合併妊娠で分娩後、長期間治療を継続した症例の血糖コントロールや糖尿病合併症の状況を調査することにより、妊娠がその後の糖尿病に与える影響を検討し、糖尿病の長期管理に役立てることを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1964 年 2 月から 1997 年 3 月までの間に東京女子医科大学糖尿病センターに通院または入院し出産した糖尿病女性

●利用するカルテ情報

- ① 現在の年齢、糖尿病発症年齢、糖尿病のタイプ
- ② 分娩時年齢、分娩までの糖尿病罹病期間、分娩日、分娩週数
- ③ 身長、体重、BMI
- ④ 糖尿病の治療方法（妊娠中、分娩後、現在）
- ⑤ 血糖値、HbA1c 値、GAD 抗体
- ⑥ 血清クレアチニン値、尿定性、尿中アルブミン値
- ⑦ 透析の有無、腎移植の有無
- ⑧ 網膜症、光凝固の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病センター 担当医師 内潟安子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 27 年 11 月 28 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、手術中に実施した検査結果を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「排尿機能に対する術中モニタリングとしての球海綿体反射：その有用性と限界」

【研究機関】 東京女子医科大学病院脳神経外科

【研究責任者】 東京女子医科大学 脳神経外科 教授・講座主任 川俣 貴一

【研究の目的】

脊髄円錐部/馬尾神経圧腫瘍の手術において、排尿機能に対する術中モニタリングとしての球綿体反射の有用性とその限界について検討する

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2012 年 1 月から 2015 年 10 月までの間に東京女子医科大学脳神経外科で脊髄円錐部/馬尾神経圧腫瘍の手術を受けた方です

●利用するカルテ情報

年齢、性別、排尿症状を含めた臨床症状および経過、手術記録

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検査結果およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科 担当医師 光山哲滝

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7438

平成 27 年 11 月 2 日

CKD-JAC 研究に参加していただいた患者さんへ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 日本 CKD コホート研究終了後の継続予後調査に関する研究
ー慢性腎臓病患者を対象とした観察研究ー

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科 教授・講座主任

[研究の目的]

CKD-JAC 研究（以下、前研究）に参加した慢性腎臓病患者さんについて、前研究終了後の臨床情報（病気の経過、血清クレアチニン値など）の調査を行い、そのデータと前研究データを用いることにより、日本での保存期慢性腎臓病患者さんの長期間の予後を評価することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

慢性腎臓病の患者さんで、以前に CKD-JAC 研究に参加していただいた方

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、検査結果（血液検査、尿検査）、その後の検査経過、最終的に心血管イベント発症や腎代替療法にいたったかどうかなど

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 片岡浩史

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 11 月 28 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診察時に実施した検査所見を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「足底圧分布検査を用いた脊髄症状による歩行障害の評価」

[研究機関] 東京女子医科大学病院脳神経外科

[研究責任者] 東京女子医科大学 脳神経外科 教授・講座主任 川俣 貴一

[研究の目的]

脊髄症による歩行障害例に対し、歩行時や立位保持での足底圧分布を術前後で計測し、その有用性について検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2012 年 1 月から 2015 年 8 月までの間に東京女子医科大学脳神経外科で脊椎変性疾患や脊髄腫瘍の手術を受けた、術前に独歩可能であった方です。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、足底圧分布検査(術前・術後)、神経症状などの臨床経過、手術記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検査所見およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科 担当医師 光山哲淹

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7438

平成 27 年 11 月 27 日

**脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたは御家族の方へ（臨床研究に関する情報）**

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常の診療上の検査データを用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 脳出血患者における来院時単純および造影 CT での血腫内ハンスフィールド値の変化と血腫増大との関係

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター

【研究組織】 (◎ 研究責任者)

◎ 糟谷英俊	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	教授
笹原 篤	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	講師
萩原信司	東京女子医科大学東医療センター	脳神経外科	助教
坂口摩希子	東京女子医科大学 3 年生		

【研究の目的】

当院に来院した脳出血患者に行われた単純および造影 CT の血腫内ハンスフィールド値の変化と血腫増大との関係を明らかにすることを目的とします。また、spot sign などのほかの因子についても測定し、どの因子が血腫増大にもっとも鋭敏かを検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2012年1月1日から2015年10月31日までに東京女子医科大学東医療センター脳神経外科に、脳出血で入院された患者さん

●利用する検査結果およびカルテ情報

検査結果: 診療で必要と判断し行ったCT画像

カルテ情報: 診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、治療内容、患者状態

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検査結果を利用することを御了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問合せ先】

東京都荒川区西尾久2-1-10

東京女子医科大学東医療センター脳神経外科 担当医師 糟谷英俊

電話 03-3810-1111 (6135) FAX 03-3819-8680

平成 27 年 11 月 2 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

前立腺癌に対する外照射を併用した高線量率組織内照射療法の多施設共同遡及的観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

[研究責任者] 唐澤 久美子 東京女子医科大学 放射線腫瘍学教室 （教授）

[研究の目的]

前立腺癌に対する外照射を併用した高線量率組織内照射療法（HDR）の治療成績を多施設共同で遡及的に解析する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2007 年 2 月から 2011 年 10 月までの間に東京女子医科大学放射線腫瘍科で前立腺癌に対して外照射併用高線量率組織内照射を施行した方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、病理組織、血液検査、治療内容、再発の有無、無病期間、観察期間、生存の有無、画像検査

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 橋本弥一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成 27 年 11 月 28 日

腎臓小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 ドナー年齢別に観察した移植後腎機能とベースライン生検像の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院腎臓小児科

〔研究責任者〕 服部元史 東京女子医科大学腎臓小児科 教授

〔研究の目的〕

小児腎移植ではドナーが両親のみならず、祖父母の機会も多いため、ドナー年齢には 30－70 歳代と幅があります。そこでドナー年齢により対象を分類し、腎機能や病理像を検討して、ドナー年齢を考慮した工夫が移植後管理に必要であるかを本研究にて調査します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2001年4月から2014年8月に当科で腎移植を施行した小児患者（20歳未満）

●利用するカルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、性別、生年月日、出生歴、家族歴、既往歴
- ②疾患情報：疾患名、手術歴、治療内容
- ③血液検査結果：肝機能、腎機能、電解質、免疫抑制剤血中濃度、尿一般
- ④病理検査：腎生検

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 服部元史

電話 03-3353-8111（代表） FAX 03-3359-4877

平成 27 年 11 月 2 日

放射線科 CT 室で検査をおこなう（または過去におこなったことのある）
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「Fast kV switching Dual Energy CT 撮影を用いた仮想単純 CT 画像の有用性の検討」

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター放射線科

[研究責任者] 東京女子医科大学東医療センター 放射線科教授 上野 恵子

[研究の目的]

Fast kV switching Dual Energy 撮影による腹部造影 CT における仮想単純 CT 画像の有用性を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 25 年 10 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日の間に Fast kV switching Dual Energy 撮影による腹部造影 CT 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、疾患名、画像診断検査結果（CT 画像）、身長、体重、eGFR 値（腎像の機能を表す数値）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター放射線科 担当 田中 功

電話 03-3810-1111（内線 8900） FAX 03-3894-0282

平成 27 年 12 月 1 日

日赤医療センター神経内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

無症候性基底核ラクナ梗塞がアルツハイマー型認知症の脳血流に与える影響

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経内科

[研究責任者] 北川 一夫 東京女子医科大学 神経内科 教授・講座主任

[研究の目的]

アルツハイマー型認知症の臨床症状を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

アルツハイマー型認知症の患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 27 年 8 月 31 日の間に脳血流シンチ検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、治療内容、既往歴、家族歴、身体所見、認知機能検査、画像検査、血液検査

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科 担当医師 北川 一夫

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7324

平成 27 年 11 月 1 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、保管されているカルテ情報から抽出したデータを用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 低肝機能肝細胞癌に対する治療適応に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器外科

[研究責任者] 山本雅一 消化器外科 教授

[研究の目的]

低肝機能肝細胞癌に対する治療の早期成績と遠隔期肝不全死の実態を明らかにし、適切な治療指針を再構築すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2000 年 4 月 1 日-2013 年 12 月 31 日に肝障害度 B, C あるいは Child B, C を伴う肝細胞癌の治療（肝移植、解剖学的切除群、解剖学的切除＋部分切除群、部分切除群、ラジオ波焼灼療法、動脈塞栓療法など）を受けた患者さん。

●利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、術前 AST 値、血小板数、プロトロンビン時間（％）、血清アルブミン、総ビリルビン、腹水、肝性脳症、Child-Pugh score, ICG-R15（％）、画像所見（腫瘍径、腫瘍個数、脈管侵襲等）、病理学的所見（脈管侵襲、腫瘍・背景肝組織等）、HBV 感染、HCV 感染、alpha-fetoprotein, PIVKA-II 値、解剖学的切除、部分切除等など治療方法の種類、病理学的切離断端の有無、切除容量。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 高橋 豊

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

e-mail; yutaka@ige.twmu.ac.jp

平成 27 年 9 月 30 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] フォンタン型手術後患者における骨格筋重量に関する臨床研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 朴 仁三 循環器小児科 診療部長・准教授

[研究の目的]

フォンタン型手術後の患者さんでの筋重量と血行動態との関連を検討すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

フォンタン型手術後の有する患者さんで、平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日の間に当科でカテーテル検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、カテーテル検査時年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、カテーテル検査、心電図）、内服内容、手術時期、手術内容。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 森 浩輝

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 10 月 20 日

東京女子医科大学東医療センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さん自身の疾病の診断・治療等に必要な検査により得られた結果値を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 自動血球計数装置 XN3000 の IP メッセージにおける予測能の評価
およびカットオフ値の設定

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター 検査科

[研究責任者] 加藤 博之 東京女子医科大学東医療センター 検査科 教授

[研究の目的] 検査精度の向上

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学東医療センターに通院中または過去に通院・入院されたことのある患者さんで、御自身の疾病の診断・治療等が必要で血液像検査のために血液を採取された方。

●利用する情報

検査結果：血液検査の血液像結果値

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター 検査科 検体検査室

電話 03-3810-1112 (内線 3054)

平成 27 年 11 月 11 日

第一外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 膵癌術後肺転移に対する肺切除症例の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院第一外科

[研究責任者] 大貫恭正 東京女子医科大学 第一外科学 （教授）

[研究の目的]

膵癌は術後再発、転移が多く、予後不良な疾患とされています。膵癌の再発部位としては膵局所と肝転移が高く、肺転移は少なく、1.8～6.4%と報告されています。肺転移は多発性や癌性リンパ管症が多く、切除可能な症例は稀であり、治療方針と予後は明らかではありません。今回当科において、膵癌術後肺転移の肺切除を施行した症例に関して検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院にて 2008 年 1 月から 2015 年 10 月までに膵癌術後肺転移に対して肺切除を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①性別、年齢、身体所見
- ②最終病理組織診断
- ③画像所見(CT PET XP)
- ④既往歴
- ⑤術前の Performance Status
- ⑥手術時の年齢
- ⑦手術日（西暦 年 月 日）： 例 2001/1/15
- ⑧手術アプローチ
- ⑨手術術式
- ⑩手術中出血
- ⑪手術時間
- ⑫輸血の有無
- ⑬入院期間
- ⑭術後合併症

⑮術後合併症の内容

⑯血液検査所見 WBC Hb HT PLT AST ALT LDH Cr BUN CRP KL6 SPD SPA
β-D-グルカン 腫瘍マーカー (CEA CA15-3)

⑰術後経過 (治療内容)

⑱術前治療歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第一外科 担当医師 光星翔太

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7333

平成27年11月15日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心大血管術後の VATS 症例の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院呼吸器外科

【研究責任者】 大貫 恭正 呼吸器外科 教授

【研究の目的】

近年、心臓大血管術後に胸腔鏡下手術（VATS）を行う機会が増加しています。過去の心大血管手術により様々な癒着を生じることがあり、手術の際には癒着剥離がしばしば問題となることがあります。今回、心臓大血管手術既往がある患者さんの VATS 症例について調査をします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当科に入院歴がある患者さんで、心大血管手術の既往があり、平成 15 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に VATS を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、既往歴、検査結果（血液学的検査、呼吸機能検査、画像検査、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査）、手術記録、病理診断

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院呼吸器外科

電話 03-3353-8111（内線 31125）

担当医師 前田 英之

FAX 03-5269-7333

平成 27 年 9 月 20 日

-献血血液を使用した研究に関する情報-

当院では、厚生労働省が策定した「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」に基づき、献血いただいた血液の分配を受け、以下の研究を実施しております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 献血血液中の赤血球流動挙動の経日的変化

【研究機関】 東京女子医科大学病院東医療センター麻酔科

【研究責任者】 小森 万希子（東京女子医科大学東医療センター麻酔科・教授）

【研究の目的】

献血していただいた血液が保存期間中にどのような影響を受けるかを解析します。特に赤血球の変化に着目します、赤血球は血液中にある細胞であり、酸素を運ぶ役割を果たします。その赤血球の酸素を運ぶ役割の保存期間中の変化の様子を、赤血球が小さな血管を通過する際に変形する能力などから評価いたします。

【研究の方法】

献血いただいた血液を日本赤十字社から分配を受け、献血血液の保存期間中の赤血球の変化につき、以下の項目を測定します。

- ① 赤血球変形能
- ② 血液粘度
- ③ 血液比重
- ④ 血液密度
- ⑤ ヘモグロビン濃度（赤血球中の蛋白質で酸素を運搬する役割がある）、ヘマトクリット値（血液中に占める血球の体積の割合）など
- ⑥ 赤血球の形態を観察（走査型電子顕微鏡）

【個人情報の取り扱い】

利用する献血検体からは、お名前、住所など、献血者を直接特定できる個人情報は削除されております。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も献血者を特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター麻酔科

担当医師 市川 順子

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-0282

平成 27 年 9 月 3 日

外科・内分泌外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 乳房トモシンセシスの有用性と当院における初期使用経験
当院におけるステレオガイド下吸引式乳房組織生検

【研究機関】 東京女子医科大学病院画像診断・核医学科

【研究責任者】 坂井 修二 東京女子医科大学 画像診断・核医学科 教授・講座主任

【研究の目的】

2015年6月に当院マンモグラフィ撮像機器が更新され、通常のマンモグラフィに加えてトモシンセシス撮像が可能となりました。現在、トモシンセシス撮像が可能である医療機関は比較的限られています。そこで、機器更新以降当院へ乳癌や乳癌疑いのための精査もしくは健診目的に来院し、通常のマンモグラフィおよびトモシンセシスを撮像した患者さんについて後ろ向きに観察し、通常のマンモグラフィ単独とトモシンセシス併用の診断精度を比較して、トモシンセシスの有用性を検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

乳癌または乳癌の疑いのある患者さんで、平成 27 年 6 月 16 日から平成 27 年 8 月 31 日の間に乳房トモシンセシス検査およびステレオガイド下吸引式乳房組織生検を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、血液検査結果、画像診断結果、病理診断結果、手術所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院画像診断・核医学科 担当医師 中村 泉
電話 03-3353-8111 (内線39966) FAX 03-5269-9247

平成 27 年 12 月 7 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 IMRT 治療計画症例とロバスト最適化 IMRT 治療計画症例の比較評価

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 放射線腫瘍科

〔研究責任者〕 放射線腫瘍科 教授・講座主任 唐澤 久美子

〔研究の目的〕

治療計画装置の新規機能の有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 15 年 4 月 1 日から平成 27 年 10 月 30 日の間に強度変調放射線治療を受けた方

●利用するカルテ情報

検査結果（CT 画像）、放射線治療計画データ

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央放射線部 江面 崇智

電話 03-3353-8112（内線 21003） FAX 03-5269-7491

平成 27 年 12 月 10 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 第 11 次 ATL 全国実態調査登録患者の予後調査

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院血液内科

〔研究責任者〕 田中淳司 東京女子医科大学 血液内科 教授

〔研究の目的〕

本調査研究では、先行研究である第 11 次ATL 全国実態調査研究に登録されたATL 患者を対象にして、予後を含む臨床疫学調査を行い、以下の点を明らかにすることを目的とします。

- (1) 本邦におけるATL の初診時の臨床病態と治療法を評価したうえで、予後因子解析と予後予測モデルの作成を試みる。
- (2) 皮膚病変・末梢血病変・消化管病変を含む限局期ATL についてもデータ収集・解析し、将来的な病型の見直しに資することを検討する。
- (3) 本邦における診療の現状をガイドラインに照らして解析する。

上記(1)～(3)の達成により、最終的にATL の新しい診療体制の整備に寄与することを目的とします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 22 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日の間に成人 T 細胞白血病リンパ腫の診断を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢・性別・病型・治療の有無及び内容・最終転帰

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で

きる個人情報を利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 風間啓至

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7329

平成 27 年 12 月 14 日

腎臓外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、以前に採血された残余血清の保存検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 臓器移植における抗血液型抗体検出法の検討

【研究機関】 東京女子医科大学 腎臓外科

【研究責任者】 瀧之上 昌平 東京女子医科大学病院 腎臓外科 准教授

【研究の目的】 臓器移植における補体結合性抗血液型 IgG 抗体検出について

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 10 年 1 月 5 日から平成 32 年 12 月 28 日の間に ABO 血液型不適合臓器移植を目的で来院された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：残余血清

カルテ情報：

- ①年齢・性別
- ②診断名
- ③治療内容
- ④検査結果（抗血液型抗体検査、生化学検査）
- ⑤病理組織診断

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓外科 担当医師 医局長 小山 一郎

電話 03-3353-8111 内線 36441～3 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 12 月 14 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「東京女子医科大学病院 CCU 入院患者実態調査」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器内科

〔研究責任者〕 萩原 誠久 東京女子医科大学 循環器内科学教室 教授・講座主任

〔研究の目的〕

東京女子医科大学病院心臓集中治療室 (CCU) の入院患者様の実態を調査するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2007 年 1 月から 2015 年 10 月までの間に東京女子医科大学循環器内科 CCU に入院した患者さん。

●利用するカルテ情報

年齢・性別・身長・体重など患者さんの基本情報：診断名および併存疾患：バイタルサインおよび理学検査所見：臨床検査値：画像診断結果：治療内容：予後

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 南 雄一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 12 月 9 日 第 2 版

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 再発・難治性悪性リンパ腫に対する DexaBEAM 変法/BEAM 変法を用いた自家末梢血幹細胞採取及び同移植成績の後方視的検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院血液内科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学血液内科・教授・田中淳司

〔研究の目的〕

再発難治性悪性リンパ腫症例の DexaBEAM 変法/BEAM 変法を用いた自家末梢血幹細胞採取及び同移植の治療効果を調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

再発難治性悪性リンパ腫の患者さんで、平成 16 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に再発難治性悪性リンパ腫の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、病理組織型、進行期、既往歴、前治療歴、併存合併症の有無、血液生化学検査、画像評価、治療内容、治療効果、治療関連の副作用

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 飯塚 有希

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7329

平成27年11月13日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 開腹腎部分切除術における腎実質縫合の有無による周術期成績の比較検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 田邊一成 泌尿器科 教授

【研究の目的】

開腹腎部分切除術において腎実質無縫合で行うことによる周術期成績の評価

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2012年4月から2015年9月に東京女子医科大学泌尿器科で施行した開腹腎部分切除術170例が対象

●利用するカルテ情報

①年齢②性別③手術所見(術式、出血量など)④病理所見(組織型、病期など)⑤CT画像所見
⑥採血データ(血算、生化学、凝固系など)⑦臨床経過(臨床症状、追加治療の有無)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 橘秀和

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 12 月 1 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

IgA 腎症に対する経口ステロイド治療と扁桃ステロイドパルス治療の治療効果の比較

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科教授・講座主任

[研究の目的]

IgA 腎症に対する治療法として、従来行っていた内服ステロイド治療と、近年行われている扁桃パルス治療の治療効果について比較を行い、IgA 腎症に対する適切な治療法選択について検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1991 年 1 月から 2013 年 5 月までの間に当施設において腎生検にて IgA 腎症と診断された中で、腎生検時 16 歳以上だった方

●利用するカルテ情報

腎生検時の身長、体重、年齢、性別、生年月日、血圧、内服薬の経過、過去の経過（発症年齢、罹病期間）、腎生検時の検査結果（腎生検結果、血液検査、尿検査）、治療法の経過、腎生検後 5 年間 6 か月毎の検査結果（血液検査、尿検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 星野慈恵

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 12 月 10 日

神経内科、脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

Tumefactive demyelinating lesion における MRI、C-11 Metionine PET 所見の比較

[研究機関] 東京女子医科大学病院画像診断・核医学科

[研究責任者] 坂井修二、画像診断・核医学科 教授

[研究の目的] Tumefactive demyelinating lesions は脳腫瘍との鑑別が重要となる疾患である。今回、TDL における MRI 所見と C-11 Metionine PET 所見について比較し、脳腫瘍との鑑別点について検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

Tumefactive demyelinating lesions の患者さんで、平成 26 年 1 月から平成 27 年 5 月の間に MRI と C-11 Metionine PET 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、髄液検査、画像検査）、治療薬

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院画像診断・核医学科

担当医師 阿部香代子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 27 年 12 月 3 日

腎臓小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 腎移植例における小児腹膜透析患者の体液量とその評価

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓小児科

[研究責任者] 服部元史 東京女子医科大学腎臓小児科 教授

[研究の目的]

適切な腹膜透析管理を行うため、腎移植を施行した小児腹膜透析患者の体液量とその適正な評価方法について検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2011 年 4 月から 2014 年 3 月までの 3 年間に当科で腎移植を施行した患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、レントゲン検査、エコー検査）、治療内容。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 服部元史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3359-4877

平成 27 年 12 月 1 日

東京女子医科大学神経内科及び日赤医療センター神経内科に通院中（または
過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

物忘れを主訴に来院した症例の認知機能や臨床症状に影響を与える要因の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経内科

[研究責任者] 北川 一夫 東京女子医科大学 神経内科 教授・講座主任

[研究の目的]

物忘れを主訴に来院した症例の臨床症状を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

物忘れを主訴に来院したアルツハイマー型認知症をはじめとする患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日の間に認知機能検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、治療内容、既往歴、家族歴、身体所見、認知機能検査、画像検査、血液検査

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科 担当医師 北川 一夫

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7324

平成 27 年 11 月 28 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 冠動脈ろうに対する診断および治療に関する臨床研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院循環器小児科

〔研究責任者〕 朴 仁三 循環器小児科 准教授・診療部長

〔研究の目的〕 冠動脈ろうに対する有効な診断および治療について研究する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1998 年以降 2015 年 11 月までに冠動脈ろうと診断された患者さん

●利用するカルテ情報

診療録（病歴、家族歴、診療経過）、画像診断（胸部レントゲン像、3DCT、心エコー、核医学検査、血管造影検査）、生理検査（心電図、運動負荷心電図、心内圧曲線）および血算、血液生化学、内分泌検査（BNP および ANP）、血液凝固検査、

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 朴 仁三

電話 03-3353-8112 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 11 月 30 日

救命救急センターに過去に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 敗血症性脳症と考えられる意識障害を契機として搬送された
尿路感染症患者の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 救命救急センター（救急医学）

【研究責任者】 矢口有乃 救急医学 教授

【研究の目的】

東京女子医科大学救命救急センターに入院した患者さんのうち、特に意識障害を契機として来院した症例において、意識障害にどのような因子が関連するかについて研究を行ないます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2010 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までの 3 年間に救命救急センターの集中治療室に内科の病気が原因で入院した方で、入院した時に尿路感染症と診断された方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、合併症、来院時の意識状態、来院時の臓器障害の程度、呼吸状態、血小板数、ビリルビン値、血圧、クレアチニン値、尿量、尿培養・血液培養の結果、播種性血管内凝固の合併の有無、フィブリノゲン、FDP、基礎疾患、出血症状、臓器症状、転帰

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院救命救急センター 担当医師 並木 みずほ

電話 03-3353-8111(内線:36085) FAX 03-5269-7335

平成 27 年 11 月 1 日

救命救急センターに過去に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 救命救急センターICU に入院した高齢者の死亡関連因子に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院 救命救急センター（救急医学）

【研究責任者】 矢口有乃 救急医学 教授

【研究の目的】

近年、日本は高齢化社会を迎え、救急車で搬送される高齢者の割合も高くなってきました。そのうち、救命救急センターの集中治療室（ICU）に入院される方も多くなってきており、入院 28 日後までに残念ながらお亡くなりになる方にどのような因子が関連するかについて調べる目的で研究を行います。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2006 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日に東京女子医科大学病院救命救急センターICU に入院となった 75 歳以上の方

●利用するカルテ情報

- ①年齢 ②性別 ③診断名 ④ICU 死亡 ⑤28 日死亡 ⑥3 次搬送の有無
⑦搬送元の状況 ⑧在宅診療の有無 ⑨既往歴 ⑩普段の日常生活動作
⑪WHO Performance Status(入院前の生活の自立度) ⑫来院時心肺停止であったかどうか

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院救命救急センター 担当医師 並木 みずほ

電話 03-3353-8111(内線：36085) FAX 03-5269-7335

平成 27 年 11 月 27 日

皮膚科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当科で切除した基底細胞癌の大きさの検討ーダーモスコピー診断導入前後の比較ー

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター皮膚科

[研究責任者] 田中 勝 東京女子医科大学東医療センター皮膚科 教授

[研究の目的]

ダーモスコピー診断の進歩と普及により、基底細胞癌という皮膚癌をより小さなサイズのうちに診断し、切除することができるようになった。1998 年から 2013 年に当科で切除した基底細胞癌約 300 例の大きさを統計学的に検討し、ダーモスコピー診断導入前後の各 8 年間（1998～2005 年と 2006～2013 年）で、その大きさに有意差があるかを調べる。その結果からダーモスコピーがより小さな基底細胞癌切除に貢献しているかを検証する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

基底細胞癌の患者さんで、平成 10（1998）年 1 月 1 日から平成 25（2013）年 12 月 31 日の間に手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、病変の大きさ

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院東医療センター皮膚科

担当医師 石崎純子

電話 03-3810-1111 FAX 03-3894-0282

平成 27 年 11 月 5 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「stage4 慢性腎臓病患者に対する腎癌治療戦略についての検討」

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 教授 田邊 一成

【研究の目的】

高度な腎機能障害患者に対する腎癌手術治療の最適化

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎腫瘍の患者さんで、1990 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に腎部分切除術を受けられた、高度腎機能障害患者（糸球体濾過量 15-30 ml/min/1.73m²）

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、腫瘍径、臨床病期、病理結果、症状の有無、腫瘍個数、身長、体重
- ②術前腎機能、術前 Charlson comorbidity index、術後在院日数、透析導入の有無、合併症

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 高木 敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 27 年 12 月 4 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 生体吸収性ポリマーによる再生血管療法の長期遠隔成績の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院心臓血管外科

【研究責任者】 山崎 健二 心臓血管外科 教授・講座主任

【研究の目的】

再生血管を用いたフォンタン術後の長期遠隔成績を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

先天性心疾患の患者さんで、平成 13 年 9 月 17 日から平成 16 年 12 月 10 日の間に生体吸収性ポリマーによるフォンタン手術を受けた方

●利用するカルテ情報

手術日、性別、手術時年齢、在院日数、術後在院日数、診断（術前/術後）、先行手術名、生体吸収性ポリマーの組成・サイズ・形状、経過観察日数、最終外来受診日、投薬内容（特に抗凝固療法）、術後の事象（合併症の有無）、検査履歴（心臓超音波検査所見・CT/MRI 画像所見・カテーテル検査所見）、生存/死亡（死亡原因）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 松村 剛毅

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 12 月 21 日

高血圧・内分泌内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

「原発性アルドステロン症における腹腔鏡下副腎摘出術の降圧効果の予測因子の解明」

[研究機関] 東京女子医科大学病院高血圧・内分泌内科

[研究責任者] 市原 淳弘 高血圧・内分泌内科 教授・講座主任

[研究の目的]

腹腔鏡下副腎摘出術の降圧効果の予測因子を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

原発性アルドステロン症の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 27 年 2 月 28 日の間に腹腔鏡下副腎摘出術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 臨床所見〔年齢、性別、身長、体重、血圧、病歴に関する情報（服薬歴、既往歴、家族歴、喫煙歴、飲酒歴）〕
- ② 血液所見（腎機能、電解質、尿酸、血漿アルドステロン濃度、血漿レニン活性）
- ③ 24 時間蓄尿所見（電解質、アルブミン、タンパク、アルドステロン）
- ④ 負荷試験所見（カプトリル負荷試験、生理食塩水負荷試験、立位・ラシックス負荷試験、迅速 ACTH 負荷試験）
- ⑤ 副腎静脈サンプリング所見（ACTH 負荷前後の血漿アルドステロン濃度、コルチゾール）
- ⑥ 病理学的所見
- ⑦ 術前後の投与薬剤（降圧薬、カリウム製剤、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬）
- ⑧ 治療反応性

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院高血圧・内分泌内科

担当医師 木田 可奈子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7327

平成 27 年 11 月 25 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

〔研究課題名〕 アバタセプト（オレンシア）の整形外科周術期合併症に対する影響
－多施設共同観察研究－

〔研究機関〕 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

〔研究責任者〕 桃原茂樹、膠原病リウマチ痛風センター、教授

〔研究の目的〕

関節リウマチについて、ここ 10 年程度で数多くの薬剤が市販され、病気の状態を著しく良くしました。それにもかかわらず、手術治療が必要な方は未だに多くおられます。最近市販された薬剤は、効き目も良い一方、感染症などの合併症を増やすことが報告されています。したがって、手術治療においても感染症を初めとする合併症が増えるのではないかと心配されています。これまで TNF アルファ阻害薬については、周術期合併症、特に手術部感染症を軽度増加させるとの報告がありますが、まったく作用機序の異なるアバタセプト（オレンシア）については、手術に関連した報告はほとんどありません。その理由として、この薬剤が比較的新しい薬剤であることもあって、1 施設で投与している患者さんの数が少なく、そのために手術を受ける患者さんも少ないため、十分な解析ができないことが挙げられます。したがって、たくさんの施設が共同で研究を行って、影響を明らかにする必要があります。今回は京都大学を中心とする多施設での研究を行い、当施設も参加いたします。

〔研究の方法〕

(1) データの収集について

2011 年から 2014 年 3 月までに、関節リウマチの方に対して当院で整形外科手術を行った方のデータを、カルテから収集します。各施設において収集されたデータは厳重に匿名化され、中心となる京都大学に送られます。

(2) 比較及び評価の方法

アバタセプト（オレンシア）を投与した方と、アバタセプト（オレンシア）を含む生物学的製剤を投与していない方の手術合併症を比較し、合併症の発生率に違いがないかを調査します。また合併症に遭った方とそうでない方を比較し、年齢や手術の方法などによって、違いがないかどうかを調査します。

(3) 予想される利益・不利益

手術をすでに受けた患者さんについて、特に利益・不利益は生じません。

(4) この試験への参加について

もしこの説明書をお読みになり、ご自分の手術について解析をしてほしくないと思われた場合は、担当医までお知らせください。解析ファイルから、あなたのデータをすべて削除いたします。

(5) 費用および謝礼について

費用の免除及び謝礼金はありません。

(6) この研究は多施設研究であり、当施設においては関連する企業等の資金提供や開示すべき利益相反はありません。一方本研究の中心である京都大学はオレンシアを販売する BMKK 社から資金提供を受けますが、同社との間には開示すべき利益相反はなく、本研究で得られた研究成果や知的財産権は、同社に無償で提供されます。ただし一人一人の方のデータは提供されることはありません。

[個人情報の取り扱い]

この調査で得られた結果は、専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。結果発表の際には慎重に配慮し、患者さん個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合、また何か分からないことや心配なことがある場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 整形外科

担当医師 中山 政憲

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 27 年 12 月 21 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 植込み型除細動器挿入中の QT 延長症候患者の妊娠に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 東京女子医科大学循環器内科主任教授 萩原誠久

[研究の目的]

植込み型除細動器挿入中の患者様の妊娠出産の危険性および安全性を立証することを目的としています

[研究の方法]

●対象となる患者さん

QT 延長症候群の患者さんでかつ植込み型除細動器挿入された患者様で、平成 10 年 1 月 1 日から平成 27 年 8 月 31 日の間に妊娠出産を行った方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、出産時の年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、心電図検査、画像検査）、植込み型除細動器記録、分娩記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 27 年 12 月 26 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] カプセル内視鏡を用いたクローン病への治療介入の現状

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器内科

[研究責任者] 徳重克年 消化器内科 教授主任

[研究の目的]

臨床症状や炎症マーカーが陰性のクローン病症例において、カプセル内視鏡所見の違いにより中長期の経過で治療介入に差があるかを解析します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当科に通院しているクローン病の患者さんで、平成 24 年 7 月 1 日から平成 27 年 10 月 31 日の間にカプセル内視鏡検査を行った方のうち、検査後 3 ヶ月間治療変更を行わずに経過した方

●利用するカルテ情報

患者基本情報（年齢、性別、年齢、病歴、診断名、合併症）、治療内容、検査結果、内視鏡所見、画像所見（レントゲン、トモシンセシス、CT）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 大森鉄平

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 27 年 10 月 25 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 潰瘍性大腸炎に対する 5ASA スイッチとローテーション

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器内科

〔研究責任者〕 徳重克年 消化器内科 教授主任

〔研究の目的〕

5ASA 製剤の変更による治療効果を明らかにすることを目的とした。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

潰瘍性大腸炎の患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 27 年 8 月 1 日の間に 5ASA の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

患者基本情報（年齢、性別、年齢、発症年齢、病歴、病型）、治療内容、検査結果、内視鏡所見、臨床症状（下痢回数、血便頻度、腹痛の頻度、主観的な健康状態、圧痛の有無便失禁の有無、夜間下痢の有無、下痢止め使用の有無）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 大森鉄平

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 27 年 10 月 25 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院におけるパテンシーカプセルの運用ー24時間判定の現状ー

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科

【研究責任者】 徳重克年 消化器内科 教授主任

【研究の目的】

パテンシーカプセル服用後 24 時間での判定の有用性を明らかにすることを目的とした。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

小腸狭窄が疑われた患者さんで、平成 24 年 1 月 1 日から平成 27 年 8 月 31 日の間にカプセル内視鏡検査の前にパテンシーカプセルで開通性評価を行った方

●利用するカルテ情報

患者基本情報（年齢、性別、年齢、病歴、診断名、合併症）、治療内容、検査結果、内視鏡所見、画像所見（レントゲン、トモシンセシス、CT）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 大森鉄平

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507